

## 住江織物

# 環境対応床材を拡充

## カーペットとセツト提案

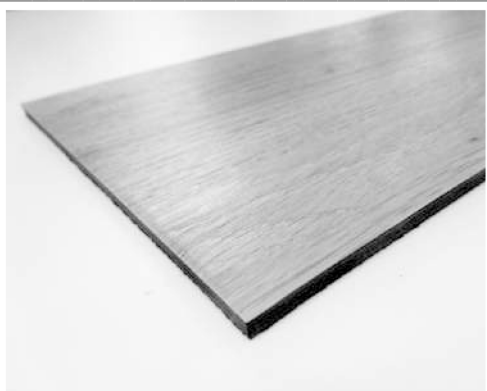
住江織物は企業の環境意識の高まりに対応し、オフィス向けにリサイクルタイルカーペットの技術を活用した床材を市場投入する。12月に木目調と石目調の床材を発売する。オフィスではタイルカーペットと木目・石目調の床材の両方を使用するケースが増えており、新製品の床材にタイルカーペットを合わせて提案することで、販売機会を拡大する。初年度に10万平方メートルの販売を目指す。

木目調と石目調の新製品「アヴァンセラフロア」は、リサイクルタイルカーペット

を製造している。再生材使用率は約53%。エコスは2011年に発売した。表面材に住江織物のポリエステル再生系を使うなどして、再生材比率最大80%超を達成。バックキングの再生材は、日本製の使用済みタイルカーペットに限定している。

「エコス」の裏材（バックキング）再生技術を活用する。廃タイルカーペットからバックキ

グを製造している。再生材使用率は約53%。エコスは2011年に発売した。表面材に住江織物のポリエステル再生系を使うなどして、再生材比率最大80%超を達成。バックキングの再生材は、日本製の使用済みタイルカーペットに限定している。



クル技術を生かして差別化した新製品を投入する。新製品は17品種を展開。消費税抜きの価格はいずれも1平方メートルあたり8900円。品種を競合他社のラインアップよりも絞り、在庫負荷を減らして、価格をリサイクル材を使用しない同等品と同程度に抑えている。また、エコスの販売量は、新製品の発売から1年で現状比10%の向上を目指す

▲住江織物が来月1日に発売するリサイクル床材の新製品「アヴァンセラフロア」の木目調タイプ

する。新製品は17品種を展開。消費税抜きの価格はいずれも1平方メートルあたり8900円。品種を競合他社のラインアップよりも絞り、在庫負荷を減らして、価格をリサイクル材を使用しない同等品と同程度に抑えている。また、エコスの販売量は、新製品の発売から1年で現状比10%の向上を目指す

オフィスの床材はニーズが多様化し、従来のタイルカーペットだけでなく、温かい雰囲気を持つ木目調などの床材の採用が拡大している。そのため、タイル床材の採用が拡大している。同社は現在、自社製品として木目・石目調などの「硬質床材」というジャンルの床材は展開していないことがあった。